

同時発表先：河内記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
近畿建設記者クラブ、都市機構森之宮記者クラブ

河内長野市・関西大学・UR都市機構による 南花台地区まちづくり連携協定締結について

～三者の連携による「丘の生活拠点」の形成を推進します～

河内長野市・関西大学・UR都市機構の三者は、平成28年度からスタートしたUR都市機構による南花台団地集約型団地再生事業を契機として、多世代が住み慣れた場所で安心して快適に住み続けられるまち（スマートエイジング・シティ）の形成を目指し相互に連携・協力するため、大阪府を立会人として『南花台地区「丘の生活拠点」に関するまちづくり連携協定書』を締結します。

本協定の締結により、安心、安全、快適に住み続けられる都市基盤の形成、住民が健康でいきいきと暮らすための多様な連携と支え合いの仕組み構築、多世代による生きがいくりの取組みなどを進めていきます。

■協定調印式

日 時：平成30年2月20日（火）午前10時30分～

場 所：コノミヤテラス（河内長野市南花台「コノミヤ南花台店2階」）

お問合せは下記へお願いします。

■河内長野市

総合政策部 政策企画課

（電話）0721-53-1111（内線343）【担当：二宮】

■関西大学

社会連携部 地域連携センター

（電話）06-6368-1339（内線6684）【担当：藤田】

■UR都市機構西日本支社

ストック事業推進部事業第3課

（電話）06-6969-9763【担当：後藤】

総務部総務課

（電話）06-6969-9008【担当：伊藤】

1. 趣旨

南花台地区は、昭和50年代から入居が始まった戸建住宅及び賃貸住宅中心の郊外開発団地であり、人口減少及び少子高齢化が進行する中での持続的なまちづくりが課題となっています。河内長野市では平成26年10月に「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業を立ち上げ、関西大学や事業者、地域住民など公民学の連携により、多世代が生きがいを持ちながら快適に住み続けられるまちを目指して、様々な取組みを進めています。また、河内長野市第5次総合計画（平成28年3月策定）にて、南花台を周辺の開発団地の拠点である「丘の生活拠点」^{※別図参照}として位置付けています。

こうした中で、UR都市機構が平成28年度より、南花台団地における集約型団地再生事業を実施することとなり、平成28年12月には河内長野市とUR都市機構との間で「南花台団地集約型団地再生事業に関するまちづくり基本協定」を締結しました。さらに、住宅・施設・サービス等の整備を推進するため、平成29年12月に南花台団地を地域医療福祉拠点化に取り組む団地に位置付けました。

今回、南花台地区でのまちづくりについて更に連携・協力するため、河内長野市・関西大学・UR都市機構の三者による『南花台地区「丘の生活拠点」に関するまちづくり連携協定書』を締結します。なお、協定の締結は、大阪府市医療戦略会議提言における7つの戦略の一つ「スマートエイジング・シティ」の実現に向けて、南花台がモデル地区に選定（平成26年9月府市協定締結）されたことが契機となったことから、大阪府の立会いのもと行います。

2. 協定調印式について

(1) 日時

平成30年2月20日（火）10：30～

当日は取材可能です。受付を会場入口でお願いします。自社腕章等、身分が分かるものを着用の上直接会場までお越しください。※コノミヤ南花台店の駐車場を利用できます。

(2) 会場

コノミヤテラス：コノミヤ南花台店2階（河内長野市南花台3丁目6-10）

(3) 出席者（敬称略）

大阪府政策企画部長 山口信彦

河内長野市長 島田智明

関西大学学長 芝井敬司

関西大学環境都市工学部建築学科教授 江川直樹

独立行政法人都市再生機構理事・西日本支社長 西村志郎

3. 協定書等の概要

河内長野市、関西大学、UR都市機構の三者は、南花台地区における「丘の生活拠点」の形成に向けたまちづくりに関し、次に掲げる事項について連携・協力する。

(1) 愛着のある魅力的な街並み形成の推進

(2) 安心、安全、快適に住み続けられる都市基盤形成の推進

(3) 南花台地区の持続性を高める機能導入の推進

(4) 地域資源を活かし多世代が健康で快適に暮らすための多様な連携と支え合いの仕組み構築の推進

(5) まちづくりに関する情報交換及び情報共有

【別図】 河内長野市第5次総合計画より抜粋

■将来都市構造図



- | | | |
|------------|--------|---------|
| 地域圏 | まちのエリア | 鉄道交通軸 |
| 拠点 | 里のエリア | 広域都市交通軸 |
| 活力創造ゾーン | 森のエリア | 構想軸 |
| 歩いて暮らせるゾーン | | 歴史軸 |

※南花台は、幹線沿道も含めた商業集積を活かし、多世代が住み慣れた場所で安心して住み続けられるまち（スマートエイジング・シティ）の形成を目指して、周辺地域の生活を支える「丘の生活拠点」と位置付けています。